

# 音楽アーティスト科 ネットアーティストコース受講科目一覧 2年次

ヴォーカル専攻

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間 45分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
講義	一般教養Ⅱ	74	2	4
講義	音楽史Ⅱ	74	2	4
講義	作曲編曲Ⅱ	74	2	4
講義	表現Ⅱ	74	2	4
実習	作品制作	148	4	4
実習	分野別実習Ⅱ	74	2	2
実習	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	74	2	2
実習	歌唱/演奏応用技術Ⅱ	74	2	2
実習	サウンドアナライズⅡ	74	2	2
演習	アンサンブル基礎Ⅱ	74	2	4
演習	アンサンブル応用Ⅱ	74	2	4
合計		888	24	36

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	歌い手Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	一般教養Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム/サウンドクリエイター/ヴォーカルパフォーマンス/ダンスパフォーマンス/アーティスト総合/ネットアーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					
<b>授業概要</b>					
歌唱する様子を動画に収める際の、歌い手として必要な表現力や歌唱の技術を習得する。既存の楽曲から歌唱に使用するを選定し、「動画撮影Ⅱ」とリンクした授業として実施。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット上にアップロードする歌唱動画を作成する際に必要な、歌唱技術と表現方法の習得。</li> <li>・動画撮影を行い自身の歌唱時の姿や歌唱内容を客観視する事で、アーティスト性の向上を目指す。</li> <li>・視聴する方の事を想定し「歌い手」として必要なエンタメ力を身に付ける。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	歌唱する楽曲を選定(サビのみ)。選定した楽曲を元に表現方法や歌唱技術の講義と確認を行う。
【前期】 5～8回目	前期課題曲を用いて「動画撮影Ⅱ」の授業とリンク。課題曲と比較しながら自身の歌唱を確認し課題点の確認を行い改善を目指す。
【前期】 9～12回目	前期課題曲を用いて「動画撮影Ⅱ」の授業とリンク。撮影した動画を元に歌唱技術の講義と磨き上げを行う。
【前期】 13～16回目	前期課題曲を用いて「動画撮影Ⅱ」の授業とリンク。撮影した動画を元に表現方法の講義と確認を行い磨き上げを行う。
【前期】 17～19回目	前期課題曲を用いて「動画撮影Ⅱ」の授業とリンク。ここまでの授業での総まとめと動画撮影に活かす。 ■前期試験: 課題曲に対して歌唱力と表現力の確認。
【後期】 20～23回目	歌唱する楽曲を選定(1曲フルコーラス)。選定した楽曲を元に表現方法や歌唱技術の講義と確認を行う。
【後期】 24～27回目	後期課題曲を用いて「動画撮影Ⅱ」の授業とリンク。課題曲と比較しながら自身の歌唱を確認し課題点の確認を行い改善を目指す。
【後期】 28～31回目	後期課題曲を用いて「動画撮影Ⅱ」の授業とリンク。撮影した動画を元に歌唱技術の講義と磨き上げを行う。
【後期】 32～35回目	後期課題曲を用いて「動画撮影Ⅱ」の授業とリンク。撮影した動画を元に表現方法の講義と確認を行い磨き上げを行う。
【後期】 36～37回目	後期課題曲を用いて「動画撮影Ⅱ」の授業とリンク。ここまでの授業での総まとめと動画撮影に活かす。 ■前期試験: 課題曲に対して歌唱力と表現力の確認。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	ネット上で活躍する「歌い手」の方々がどんな方々かを分析し、歌唱力や表現力を磨いて唯一無二の「歌い手」目指し頑張りましょう!
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	動画撮影Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	音楽史Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ネットアーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	絵画教室講師や3DCG映像制作会社を経て、現在はフリーランスのイラストレーターとして活動中。店舗イラストや商品冊子の挿絵、美術予備校から介護施設のパンフレットデザインなど幅広く担当。その他作家として個展・グループ展・ライブイベントを開催。				
<b>授業概要</b>					
歌い手Ⅱの授業で準備した楽曲等を使用し実施。 Adobe After Effects、Character Animatorを使用し、基本操作や応用方法を身につけ、動画編集について実習を行う。 最低限の撮影の知識を身につける。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画編集に必要なPC技術を学ぶ。</li> <li>・動きを絵コンテから考えることができる。</li> <li>・曲に沿った演出表現が出来る。</li> <li>・必要な素材の選定判断を身に付ける。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	「歌ってみた①」既存曲を自分らしく演出。実写。
【前期】 5～8回目	「歌ってみた②」グリーンバック撮影。撮影に必要なフレームレート等を理解する。
【前期】 9～12回目	「歌ってみた③」撮影したものに歌詞・エフェクト等 編集を行う。
【前期】 13～16回目	「テキストアニメーション」After Effectsを使用してのテキストアニメーション。
【前期】 17～19回目	「エフェクトエクスプレッション」使用頻度の高いエクスプレッションを覚える。 ■前期試験:「LIVE WEEK予告CM」タイポグラフィをメインに15秒の予告アニメーションを制作。
【後期】 20～23回目	「モーショントラッキング」LIVEWEEK時の自身の映像にモーショントラッキングを加える。
【後期】 24～27回目	「自己紹介」PV制作前に自身の好きなものを詰め込んだ映像を制作。
【後期】 28～31回目	「PV制作①」自身のプロモーションビデオを想定。簡単な絵コンテとテイストの決定。
【後期】 32～35回目	「PV制作②」ダイジェストとして過去映像と、新規で撮影。
【後期】 36～37回目	「PV制作③」効果的なエフェクトをつける。 ■後期試験:「FINAL WEEKアタック」自身のLIVE前のアタックを制作。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「各リズムの体現・理解 / 歴史の理解 / 体の理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	動画は近年特に身近になったコンテンツです。普段何気なく観ている動画も、実際に作ってみると地道な作業でいっぱいです。観る側から、制作し発信していく立場になる皆さんの為にサポートをしていきます。複数ソフトの基本操作からフレームレート等の知識面もしっかり押さえていきます。
備考	

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	動画編集Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	作曲編曲Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ネットアーティスト/シンガーソングライター				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	絵画教室講師や3DCG映像制作会社を経て、現在はフリーランスのイラストレーターとして活動中。店舗イラストや商品冊子の挿絵、美術予備校から介護施設のパンフレットデザインなど幅広く担当。その他作家として個展・グループ展・ライブペイントを開催。				
<b>授業概要</b>					
動画撮影Ⅱと同様、Adobe Premiere Pro、After Effectsの応用方法を身につけ、動画編集について実習を行う。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画撮影Ⅱの講義をもとに動画編集に必要なPC技術を学ぶ。</li> <li>・動きを絵コンテから考えることができる。</li> <li>・曲に沿った演出表現が出来る。</li> <li>・必要な素材の選定判断を身に付ける。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	「After Effects 基本操作」シーケンスの設定・図形の描画・テキスト入力 等。
【前期】 5～8回目	「モーショングラフィックス」基本的な動きを制作。
【前期】 9～12回目	「Illustrator 基本操作」図形・柄・複製 等。
【前期】 13～16回目	「キャラクター制作」Illustratorでオリジナルのキャラクターを1から制作。レイヤーを理解し、パーツごとに分ける。
【前期】 17～19回目	「背景制作・ループ」Illustratorで背景も制作し、BGMと共にループの動きもつける。 ■前期試験:「キャラクターアニメーション」パーツすべてに的確にリグを打ち、キャラクターを動かすことができる。
【後期】 20～23回目	「オリジナルCM①」自身の私物に対し、架空のCMを制作。コメントやカットも考える。
【後期】 24～27回目	「オリジナルCM②」効果的なエフェクトをつける。
【後期】 28～31回目	「ポーカロイドMV①」After Effects内の3Dカメラを理解し、画面構成を考える。
【後期】 32～35回目	「ポーカロイドMV②」1枚絵をPhotoshopでレイヤー分けし、After Effectsで動きをつける。
【後期】 36～37回目	「ポーカロイドMV③」文字スタイルやエフェクトを自身で作成し、雰囲気に沿った表現ができる。 ■後期試験:「アイキャッチ制作」5秒程度のアニメーションを制作。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「編曲の理解/DAW操作の理解/Mixクオリティ」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	動画は近年特に身近になったコンテンツです。普段何気なく観ている動画も、実際に作ってみると地道な作業でいっぱいです。観る側から、制作し発信していく立場になる皆さんの為にサポートをしていきます。複数ソフトの基本操作からフレームレート等の知識面もしっかり押さえていきます。
備考	

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカルパフォーマンスⅡ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	表現Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ネットアーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	The 8th Music Revolution Hi-Gain大会でグランプリを獲得。・V3新人オーディション20thファイナリストに選出)そのポテンシャルの高さを披露。2012年には、Fukuoka Music Factoryの第6弾ファイナルアーティストに選出さる。 2016佐賀年気球世界選手権応援ソングに「Life」が採用される。2020年配信弾き語りワンマンライブ「Voyage」を開催。				
<b>授業概要</b>					
課題曲・選択曲(ジャンル分け)を使って表現とは何かを学ぶ。曲が生まれた時代背景・歴史を調べる。作者の人生を調べつつ曲の奥にある世界を読み取る。曲を使って自分の世界を投影させる。自分のイメージを具現化する。楽曲アレンジの具体的アイデアを練りだし、バンドメンバーやアレンジャーとコミュニケーションをとる。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲をそのまま歌うのではなく、理解を深め、本人にしか歌えない曲に仕上げる。</li> <li>・明確なイメージを持ち、具現化する力をつける。</li> <li>・選曲、理解、アレンジ、舞台演出、パフォーマンス、すべてをゼロから作り上げることができる。</li> <li>・客観的視点を持ち、エンターテインメント性をみすえてパフォーマンスすることができる。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	課題曲① 歴史・時代背景・自分の世界観との共有
【前期】 5～8回目	課題曲① イメージの具現化。アレンジ、メンバー人選、歌唱演習
【前期】 9～12回目	選択曲① 歴史・時代背景・自分の世界観との共有
【前期】 13～16回目	選択曲② イメージの具現化。アレンジ、メンバー人選、歌唱演習
【前期】 17～19回目	前期まとめ/面談 ■前期試験:課題曲の歌唱により「曲の理解 / 演出力 / テクニック・クオリティー / コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	自己制作①
【後期】 24～27回目	自己制作②
【後期】 28～31回目	自己制作③
【後期】 32～35回目	自己制作④
【後期】 36～37回目	最終まとめ/ステージ発表 ■後期試験:課題曲の歌唱により「曲の理解 / 演出力 / テクニック・クオリティー / コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「曲の理解 / 演出力 / テクニック・クオリティー / コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	「ただ歌う」「その通り歌う」は、卒業しましょう。曲の奥にある世界を深く紐解くと、その曲の魅力を発見できて自分の表現力も同時に上がります。ただ単に上手なヴォーカルではなく、心の深いところに響き何度でも聞きたくなるヴォーカリストになりましょう。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタジオワークⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	作品制作	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギターヴォーカル/ギター/ベース/ドラム/ネットアーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					
<b>授業概要</b>					
基礎課程で積み上げてきた知識、技能の総体としてクリエイティブな応用実践で音楽やパフォーマンス作品を作り上げていきます。また、グループプロジェクトとして企画、打合せ、譜面制作、リハーサル、レコーディング、ステージ本番に至るスケジューリングを行い、構成員の考えや芸術観などお互いにコネクトしながらより良い制作の方法を考えることにも重点を置きます。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンターテインメントの基本構造の理解、表現学習、作品制作、ステージ発表などを習得のサイクルとし、徐々に表現レベルを上げていきます。</li> <li>・メンバー全員でひとつのプロジェクトを作ることを経験し、今後の活動に生かすことが出来るようにし、且つクオリティーの高い楽曲制作と演奏が出来るようにシミュレーションを重ねます。</li> <li>・自身のポテンシャルを高めて、将来的な可能性の幅を広げることが可能になります。</li> <li>・チームワーク、協調性を養います。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	決められたメンバーと協力し合い、ひとつのプロジェクトを作り、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【前期】 9～16回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【前期】 17～24回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【前期】 25～32回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【前期】 33～38回目	前期の授業で制作してきた作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■前期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 39～46回目	後期はより高度なプロジェクトコンセプトをグループごとに思考し、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【後期】 47～54回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【後期】 55～62回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【後期】 63～70回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【後期】 71～74回目	後期の授業で制作した作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■後期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一作品をグループで作りに上げるプロセスの中で生じる葛藤や苦悩という生みの苦しみを経験しながら、作品完成時に感じる達成感や喜びを授業を通してシミュレーションしておきましょう。また基礎課程で培ったパーツを組み合わせる応用課程のクリエイティブティも存分に発揮してください。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ネット配信実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ネットアーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	ポール・ギルバート、シェーン・ガラーズ、Allen・Hindsとのセッションも経験。中洲jazzやバルーンフェスタ、イスラデサルサ等イベントにも多数出演。デヴィッド・ボウイなどのアーティスト写真を撮った写真家鋤田正義氏の写真展でのBGMにギターでの参加するなどアート方面での音楽でも活躍。上記の経歴を活かし、職業として求められる職業として求められる「動画配信に関する知識と技術等」の指導を行う。				
授業概要					
配信用動画の音の処理や生配信の方法などの知識を身につけていきます。					
到達目標					
動画作成、音源作成、生配信を自分で出来るようにする。また、そのクオリティを上げる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	Mixの工程・動画用の音源の処理について
【前期】 5～8回目	RecからMixまでの流れについて
【前期】 9～12回目	撮影・Rec・Mixまでの流れをやってみよう
【前期】 13～16回目	動画の音の細かな処理について
【前期】 17～19回目	トータル復習 ■前期試験:動画を作成し提出
【後期】 20～23回目	OBSを使った生配信について
【後期】 24～27回目	生配信を実際におこなってみる
【後期】 28～31回目	SNSに上げる動画を作ってみよう①
【後期】 32～35回目	SNSに上げる動画を作ってみよう②
【後期】 36～37回目	SNSに上げる動画を作ってみよう③ ■後期試験:生配信の設定確認
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「発声メカニズムの理解 / 基礎発声の習得 / 声域」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	難しい部分もありますが配信について頑張って知識を身につけていきましょう。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォイストレーニングⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏応用技術Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ダンスヴォーカル/ネットアーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Back Number、中村 正人(DREAMS COME TRUE)等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン</li> <li>・自身もシンガーソングライターとして九州各地でライブ活動を行う。</li> <li>上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術、楽器知識等」の指導を行う。</li> </ul>				
<b>授業概要</b>					
歌唱の基礎、呼吸や姿勢、発声の際に使う体の使い方を学び、ピッチ、音価の正確性を高める。また、手拍子や体を使いリズム感をしっかりと養い、歌唱の際に表現に集中できるようにする。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸法の基礎を習得。</li> <li>・発声の際の姿勢を習得。</li> <li>・骨盤底筋、インナーマッスルを強化し、発声の安定性を獲得する。</li> <li>・力を入れずに発声できるようになり、自然な姿勢でリズムに乗れるようになる。</li> <li>・歌の中で使える滑舌を習得し、言葉が伝わる歌唱ができるようになる。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	各々の発声の状態、問題を確認。トレーニングメニュー説明&実践。ロングトーンやスケールを使い基本的な発声練習。
【前期】 5～8回目	呼吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。表情筋トレーニング。チェストボイスを中心に、トレーニング。
【前期】 9～12回目	呼吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。ヘッドボイスを中心にトレーニング。
【前期】 13～16回目	呼吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。声区融合トレーニング
【前期】 17～19回目	前期テスト対策。前期テスト：発声に関する用語、仕組み、発声、リズムの到達度の確認。
【後期】 20～23回目	吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。子音トレーニング。メトロノームを使い任意の曲をアカペラで歌唱。調声、リズムトレーニング。
【後期】 24～27回目	吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。子音トレーニング。表情筋トレーニング。
【後期】 28～31回目	これまでの発声練習を応用し、総合発声トレーニング。アカペラ歌唱。
【後期】 32～35回目	これまでの発声練習を応用し、総合発声トレーニング。アカペラ歌唱。
【後期】 36～37回目	通年のまとめ。前期テスト：発声に関する用語、仕組み、発声、リズムの到達度の確認。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「発声に関する用語、仕組み/発声 / リズム」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	発声は筋トレです。フィジカルをしっかりと鍛え、自分の内なる声を引き出し、ステージで何の不自由もなく歌えるようになりましょう。
備考	

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	歌唱実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	サウンドアナライズⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ダンスヴォーカル/ネットアーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>双子の弟・YUKIとR&amp;Bデュオ「R104」として活動を開始し、2011年よりR&amp;Bコーラスグループ「FREAK」として活動。avexから6枚のフルアルバムをリリースし、ZEPP FUKUOKAでのワンマンライブも行った。</li> <li>作詞・作曲を自身でこなし、現在はソロでのリリースも精力的に行っている。</li> </ul>				
<b>授業概要</b>					
自ら選んだ楽曲を歌いこみながらテクニックをきめ細やかに、また感情表現をより深めながらシンガーとしての自らをワークショップスタイルの中で確立していきます。生徒それぞれにまだ獲得できていない表現方法を課題曲として与え、獲得に導く。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>与えられた課題曲に対し、生徒自身がその楽曲に合う表現方法を考慮しパフォーマンスすることができるようになる。</li> <li>既存曲のカバーをする際も、オリジナル曲を自身でパフォーマンスする際も、オーディエンスに届く歌唱、音色(声色)選びができるような思考を定着させる。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	課題曲1(日本語の楽曲で自由選択)
【前期】 5～8回目	課題曲2(日本語の楽曲、それぞれに必要なテクニックのある楽曲を講師より)
【前期】 9～12回目	課題曲3(英語の楽曲で自由選択)
【前期】 13～16回目	課題曲4(英語の楽曲、それぞれに必要なテクニックのある楽曲を講師より)
【前期】 17～19回目	表現・パフォーマンス(課題曲1～4の中で1曲をライブシミュレートパフォーマンス) ■前期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	レパトリー1(自身の財産となるようなレパトリー楽曲の追求)
【後期】 24～27回目	レパトリー2(自身の財産となるようなレパトリー楽曲の追求)
【後期】 28～31回目	レパトリー3(自身の財産となるようなレパトリー楽曲の追求)
【後期】 32～35回目	レパトリー4(自身の財産となるようなレパトリー楽曲の追求)
【後期】 36～37回目	模擬ライブパフォーマンス(課題曲1～4&レパトリー1～4の中から数曲を選択し一定時間、MCも含め20分ほどのライブパフォーマンスを構築する) ■後期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	表現の幅、歌唱における様々なテクニックなど、さらにより高度なものへと押し上げ、自分自身がどのように表現したいのかをオーディエンスに確実に伝えることができるように磨き上げていきましょう。
備考	

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブ実習Ⅱ①		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル基礎Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ネットアーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・Back Number、中村 正人(DREAMS COME TRUE)等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン ・自身もシンガーソングライターとして九州各地でライブ活動を行う。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術等」の指導を行う。				
<b>授業概要</b>					
課題曲に内包されているテクニック、リズム、ハーモニーなどの類例を自らの経験値として取り込みながらバンドアンサンブルについて理解を深める。 3週で楽曲が変更。ライブイベントへ向けてのリハーサルも兼ね、パフォーマンス力、ステージング力の向上をもはかっていく。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・広い声域を使い、ヴォーカリストとしてレベルアップを目指す。</li> <li>・自分の表現の幅を広げて、ライブステージを楽しむ。</li> <li>・1年次より細かいリズムや音程もしっかりとって歌う。</li> <li>・曲を理解しエンターテインメントを習得する。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	課題曲①アップテンポ女性曲、POPSリズムに乗りペース配分を考えてメリハリをつける。
【前期】 5～8回目	課題曲②アップテンポ男性曲ROCK、滑舌よくリズムにのり叫ぶところは叫ぶ、ワイドな歌唱。
【前期】 9～12回目	課題曲③ミドルテンポ女性洋楽、英詞のもつリズムをアナライズしてアクセント、響きを学ぶ。
【前期】 13～16回目	課題曲④ミドルテンポ男性洋楽、英詞のもつリズムをアナライズしてアクセント、響きを学ぶ。
【前期】 17～19回目	課題曲①～④の中からLIVE実習にむけて選曲し、リハを重ねる。 ■前期試験：課題曲の歌唱により「歌唱力 / ステージングエンターテインメント力」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	課題曲⑤ミドルバラッド女性Vocal曲、ビブラートなどのバラッド技術を学ぶ。
【後期】 24～27回目	課題曲⑥ミドルバラッド男性Vocal曲、ビブラートなどのバラッド技術を学ぶ。
【後期】 28～31回目	課題曲⑦6/8などのバラッド曲、難しいリズム、3連を感じて歌う。
【後期】 32～35回目	課題曲⑧7/8や5/8が入る曲、キメなどをしっかりおとさずに巧みにのって歌う。
【後期】 36～37回目	課題曲⑤～⑧の中からLIVE実習にむけて選曲し、リハを重ねて発表。 ■後期試験：課題曲の歌唱により「歌唱力 / ステージングエンターテインメント力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱力 / ステージングエンターテインメント力」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	エンターテイナーなヴォーカリストを目指して技術を高めていく授業です。ステージで魅力を出すためにがんばりましょう。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブ実習Ⅱ②		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル応用Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ネットアーティスト				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・Back Number、中村 正人(DREAMS COME TRUE)等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン ・自身もシンガーソングライターとして九州各地でライブ活動を行う。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術等」の指導を行う。				
<b>授業概要</b>					
課題曲に内包されているテクニック、リズム、ハーモニーなどの類例を自らの経験値として取り込みながらバンドアンサンブルについて理解を深める。 3週で楽曲が変更。ライブイベントへ向けてのリハーサルも兼ね、パフォーマンス力、ステージング力の向上をもはかっていく。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・広い声域を使い、ヴォーカリストとしてレベルアップを目指す。</li> <li>・自分の表現の幅を広げて、アンサンブル基礎Ⅱに基づき、ライブステージを楽しむ。</li> <li>・1年次より細かいリズムや音程もしっかりとって歌う。</li> <li>・曲を理解しエンターテインメントを習得する。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	課題曲①アップテンポ女性曲、POPSリズムに乗りベース配分を考えてメリハリをつける。
【前期】 5～8回目	課題曲②アップテンポ男性曲ROCK、滑舌よくリズムにのり叫ぶところは叫ぶ、ワイドな歌唱。
【前期】 9～12回目	課題曲③ミドルテンポ女性洋楽、英詞のもつリズムをアナライズしてアクセント、響きを学ぶ。
【前期】 13～16回目	課題曲④ミドルテンポ男性洋楽、英詞のもつリズムをアナライズしてアクセント、響きを学ぶ。
【前期】 17～19回目	課題曲①～④の中からLIVE実習にむけて選曲し、リハを重ねる。 ■前期試験:ライブ実習Ⅱ①と同様、課題曲の歌唱により「歌唱力 / ステージングエンターテインメント力」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	課題曲⑤ミドルバラッド女性Vocal曲、ビブラートなどのバラッド技術を学ぶ。
【後期】 24～27回目	課題曲⑥ミドルバラッド男性Vocal曲、ビブラートなどのバラッド技術を学ぶ。
【後期】 28～31回目	課題曲⑦6/8などのバラッド曲、難しいリズム、3連を感じて歌う。
【後期】 32～35回目	課題曲⑧7/8や5/8が入る曲、キメなどをしっかりおとさずに巧みにのって歌う。
【後期】 36～37回目	課題曲⑤～⑧の中からLIVE実習にむけて選曲し、リハを重ねて発表。 ■後期試験:ライブ実習Ⅱ①と同様、課題曲の歌唱により「歌唱力 / ステージングエンターテインメント力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱力 / ステージングエンターテインメント力」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	エンターテイナーなヴォーカリストを目指して技術を高めていく授業です。ステージで魅力を出すためにがんばりましょう。
備考	